

第123回新生ふくしま復興推進本部会議
第34回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議
合同会議 議事録

- 日時：令和5年4月4日（火） 11：30～11：36
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を始めます。

議題「福島国際研究教育機構の中期計画（案）」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

それではまず、F-R-E-Iに関するこれまでの主な経緯について御説明いたします。参考資料1をご覧ください。昨年9月の立地場所の決定以降、今年1月の法定の新産業創出等研究開発協議会の準備会合の開催、設立初年度となる今年度の予算の決定など、復興庁中心に国の準備が進められ、今日1日にF-R-E-Iが設立されております。

次に、F-R-E-Iの制度設計における県知事意見について御説明いたします。参考資料2をご覧ください。F-R-E-Iの制度設計においては、福島復興再生特別措置法に基づき、様々な段階で福島県知事の意見を聴取する体系となっており、昨年8月には、新産業創出等研究開発基本計画、今年2月には、中期目標の策定に当たり、主務大臣に対して県知事意見を述べてきたところですが、昨日、参考資料3のとおり、中期計画の策定に当たり、F-R-E-Iから福島県知事に対し、法定の意見聴取があったものです。

中期計画（案）と県知事意見（案）の概要について御説明いたします。資料1をご覧ください。

まず、中期計画の位置付けであります。この中期計画は、F-R-E-Iが、主務大臣から中期目標の指示を受けて作成する7年間の計画です。中期計画の認可申請にあたって、F-R-E-Iは、法に基づき、あらかじめ、原子力災害からの福島の復興及び再生の推進を図る見地から、福島県知事の意見を聴くこととされております。なお、中期目標については、今日1日に、主務大臣から指示が行われております。

次に、中期計画（案）の内容につきましては、F-R-E-Iが取り組む5分野

の研究開発や産業化、人材育成について、7年間で取り組む内容が記載されているほか、効果的・効率的なマネジメント体制の確立、認知度向上や多様なパートナーシップの構築などについて、定められております。

そして、県知事意見（案）についてですが、全文につきましては、資料2として添付しておりますが、その概要についてご説明いたしますので、資料1の右側をご覧ください。

県としては、中期計画（案）に対して、地域と共に世界に誇る研究開発成果を実現し、福島の復興・再生に貢献するとともに、中期目標の達成に向けて実効性のある計画となるよう、3つの視点から意見したいと考えております。

具体的には、1つ目は、世界に誇る最先端の研究開発等の推進のために、福島の優位性を発揮できる5分野における、世界に冠たる拠点としての世界最先端の研究開発の推進や、魅力的な研究開発環境の整備など。

2つ目は、地域に根差した取組の推進のために、本施設の整備前からの県内での活動や、県内の実証フィールドや未利用地等の活用、県内の様々な主体とのパートナーシップの構築、これらによる機構の設置効果の広域的な波及など。

さらに、3つ目は、着実な計画実行に向けた運営基盤の構築等のために、組織面、財源面での長期・安定的な運営基盤の構築や、適切な評価体制の構築、PDCAサイクルの徹底、福島の復興・再生に貢献する研究開発ニーズ等の把握、機構を取り巻く状況の変化等を踏まえた本計画の見直しなどについて、意見したいと考えております。

県としても、F-REIはもとより、国、市町村、大学、研究機関、企業、教育機関等と共に力を合わせ、県内関係機関の先頭に立って、F-REIがイノベーションの力で切り拓く福島の新しい未来創りをしっかりと支えてまいります。以上です。

【鈴木副知事】

今の説明について、何かありますか。

なければ、案のとおり意見をすることいたします。それでは、知事からお願いします。

【知事】

「福島国際研究教育機構」は、福島県、東北の復興を実現し、さらに、我が国の科学技術力や産業競争力を強化する世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」となるものであり、今月1日設立をし、歴史的な第一歩を踏み出しました。

今回の中期計画は、F-R E Iの今後の7年間における研究開発、産業化、人材育成などの取組を定める、極めて重要な計画です。F-R E Iが地域と共に世界に誇る研究開発成果を実現し、福島イノベーション・コースト構想を更に発展させ、福島の復興・再生に資する拠点となるためには、F-R E Iはもとより、国や県、市町村、大学や研究機関、企業、教育機関など、多様な主体の連携のもと、この中期計画が着実に実施されることが重要です。

皆さんも、F-R E Iが機能を十分発揮し、福島の復興・再生を実現するものとなるよう、関係機関としっかり連携をしながら、取り組んでください。

【鈴木副知事】

以上で、合同会議を終了します。